

あなたも『TEAM KAI-GO!』の一員に
参加してみませんか。

介護の仕事には、人と人が支え合い、互いに「生きる」、そして「活かす」という人間の本质が宿っています。誰かの思いに寄り添うことで、その誰かの存在に救われることがある。誰かを喜ばせたいと願うことで、自分も笑顔になれる瞬間がある。長い時を重ねてきた人生の先輩たちの姿から、大切なことを教えてもらえることがある。介護の仕事は、心と体で“今、ここに生きている”ことを実感でき、人生における貴重な経験でもあります。

高齢化と少子化が加速する現在、働き手の減少により、この先の介護サービスの提供体制は更に厳しい局面を迎えることが予測され、2025年には全国で約55万人、県内で約4,500人の介護職員が不足すると推計されています。

そのため、国や県では、多様な介護人材の参入を促進するとともに、現場における働き方や待遇の更なる改善など、様々な取組を行っているところです。

この冊子をきっかけに、介護職に関心を持ち「やってみたい」「私にもできるかも」と心動く“未来の介護職”が現れることを願っています。年齢、経験を問わず「ONE TEAM」となって、みんなで理想の介護を目指してみませんか。

沖縄県知事 玉城 デニー

沖縄県子ども生活福祉部高齢者福祉介護課

〒900-8570 沖縄県那覇市泉崎1-2-2 沖縄県庁3階

TEL 098-866-2214 FAX 098-862-6325 E-mail:aa021156@pref.okinawa.lg.jp



沖縄県は持続可能な開発目標(SDGs)を
支援しています。

介護福祉のシゴト

ONE TEAM

ONE for ALL, ALL for ONE

誰かを支える力が生まれる。
一人ひとりの想いが集まれば

支え合いが大事さあ〜♪



沖縄県

令和元年度介護職魅力発信事業

Take
Free

ONE TEAM



ONE for ALL, ALL for ONE

P03 介護の魅力①
介護の現場は、
世代も経験も働き方も
いろいろ。

P05 介護の魅力②
介護は「快互」
遊びゴコロで、
まっすぐ生きることを
楽しもう!

P07 おじー、おばーの
「おもしろ」「感動」
エピソードが溢れてる

P09 気になる疑問を解消
介護のお仕事って
実際どうなの?

P11 介護のシゴトの紹介①
「介護職」にはどんな魅力
やメリットがあるの?

P13 介護のシゴトの紹介②
さまざまな『介護』の
現場を大解剖!

P15 転職者が語る、
介護職の『魅力』

P17 “遊びゴコロを感じる
アイデア”ユニークな
取り組み

P19 沖縄県の取り組み01
「沖縄県人材育成企業認証制度」

P21 沖縄県の取り組み02
「介護ロボットの導入支援」

P22 沖縄県・国・関係機関の求職者
への支援策
取材協力：うらそえ介護福祉士会

介護の仕事は、人と人が支え合える仕事。

世代や性別、経験を超えて、「誰かの役に立ちたい」という一つの想いが集まる場所。

楽じゃないけど、自分らしく、楽しさを生み出しながら働ける世界。

みんなで助け合い、楽しみ、時につらい時も、その想いを共有できる仲間がいます。

そう、介護は、チームWORK。わたし一人じゃないから、頑張れる。

誰かを支えること。誰かに助けられてもらうこと。

その経験があなたの人生をもっと豊かにします。



Nursing work is teamwork

「介護」って、チーム“WORK”です。

はたらこう



20歳代

通所リハビリテーションアルカディア
介護福祉士 砂川 あきの

さまざまな世代の連携が よりよい介護へつながる

利用者の皆さんをどのように支援していくか、日頃からスタッフで意見交換をしています。そんな時、経験豊富な先輩方がいかに細やかに利用者様をみつめているかに気付かされ、その姿を見ていると「もっと頑張ろう」と向上心が高まります。世代を問わず想いを共有できる仲間がいるからこそ、安心して利用者さんと向き合うことができます。



40歳代

デイサービスセンターゆい
生活相談員 田中 千鳥

互いに支え合いながら 働きやすい環境づくりを

まだ経験が少ない20代のスタッフには、利用者さんへの接し方などアドバイスをすることがありますが、逆にフットワークの軽さや、いるだけでその場を明るくする笑顔など、見習いたい部分もたくさんあります。介護の仕事は、スタッフが一つのチームになることが大切。互いに支え合いながら、働きやすい環境をつくっていきたいです。



介護の現場は、 世代も経験も働き方もいろいろ。

介護の仕事の現場には、想像以上にさまざまな世代・年齢の「仲間」がいます。今回は年代別に「どんな仕事を担っているか」「介護から学んだこと」を伺いました。“一人じゃないから、頑張れる”。介護の現場は、そんな一つの想いでつながっています。



一つの視点ではなく、 多面的なケアが可能に

20代から60代までのスタッフが働いていますが、幅広い世代が共に利用者の方々の支援を考えることで、一つの視点だけではなく、さまざまな角度からアイデアや意見が生まれるのが“多世代協働”のメリットではないでしょうか。20代、30代は利用者さんに可愛がってもらうことも多く、私自身も毎日元気や優しさを受け取っています！



30歳代

介護老人保健施設アルカディア
介護福祉士/主任 浜川 良子

人は皆“褒める”ことで やる気や活力を発揮する

私は県外出身ですが、40歳の頃に沖縄移住をしました。セカンドキャリアとして別業種から介護職に転職し、現場で働きながら介護福祉士の資格を取得しました。私が大切にしているのは、みんなを“褒める”こと。利用者さんもスタッフも、その人の個性や、“今できること”を掲げることによって、新しい活力を生み出すことができると感じています。



50歳代

小規模多機能ホームあん
介護福祉士 狩集 雄樹



介護の魅力②

介護は「快互」

遊びゴコロで、まっすぐ生きることを楽しもう！

いま必要なのは、利用者も介護者も「お互いが元気に、明るい気持ちになれる」遊びゴコロのある介護。お互いの意欲や気持ちでつながる、そんな「快互」が実践できている施設もたくさんあります。



Episode.1

楽しめないけど“楽しい”介護

ヘルパーステーションらくだ
介護福祉士

比嘉 まなみ

「やっていた良かった！」という瞬間の積み重ねが今をつくれます

介護職は楽な仕事ではありませんが、なぜ10年以上続けてこれたのかを振り返ると、利用者さんから多くの「愛」をいただいているからに他なりません。例えば言葉でやりとりするのが難しい利用者さんでも、表情やしぐさで意思の疎通が叶い、想いを共有できる瞬間があります。介護の原動力は、利用者さんから私自身の存在を受け入れてもらえること。これからも「やっていた良かった！」と思える瞬間を積み重ねていきたいです。



Episode.2

おじー、おばーの「深イイ」ことば

デイサービスセンターゆい
介護福祉士

安富祖 歩美

利用者さんから言われた一言で「介護」の“喜び”を実感しました

働きはじめて3年目のことです。当時100歳を超えた利用者さんがいたのですが、腕が少し不自由だったので、工夫して手先だけでも楽しめる手工芸を提案しました。すると「ああ、楽しい。私は戦争で学校に行けなくて、幼稚園しか出ていないの。でも今になって学校に来てとっても嬉しいよ」と輝くような笑顔で喜んでくれました。その様子を見た時、「これが介護なんだ」という喜びとやりがい、そして感謝に満たされました。



Episode.3

“遊びゴコロ”の達人を紹介します

通所リハビリテーションアルカディア
介護福祉士

桃原 淳

ともに楽しむ。みんな笑顔になる。活力になる居場所をつくりたい！

日頃、体調や症状などで「楽しみ方」に制限が設けられる利用者さんも多いのですが、そんな時「ここに来て良かった」と思ってもらえる一人ひとりの“居場所”をつくるのが私たちの仕事。三線が弾けるので、皆さんに披露することもありますよ。「もっと弾いて！」「上手だねえ〜」と喜んでくれる、その笑顔が私の原動力です。「楽しませよう」ではなく、ワクワクしながら「自分も一緒に楽しむ」。その気持ちが一番大切だと思います。



Episode.4

ここは学びの宝庫！介護は「人生塾」

通所リハビリテーションアルカディア
介護福祉士

富原 唯

利用者さんとの出会いによって人生が何倍にも豊かになります

この仕事の魅力は、自分よりも人生経験豊富な利用者の皆さんと「生きる力」を共有できること。例えばリハビリで成果が表れた時に、利用者の皆さんの表情が明るくなる瞬間。その時を共に過ごすことで、私もまた“諦めない”ことの大切さを学ぶことができます。「介護」とは、人と人が支え合う一つのかたち。経験を積むにつれ、「その人自身を受け入れる」ことが素直にできるようになり、自分自身の人生も豊かになった気がします。

♪ おじー、おばーの「おもしろ」「感動」エピソードが溢れてる

人と人が向き合う介護の現場では、「心」に響くできごとがいっぱいあります。介護職に就いている皆さんが実際に体験した、思わず笑ってしまった利用者の方の言葉や感動的なエピソードなどを大公開!

😊 笑いが生まれた!

送迎中、選挙ポスターを見ながら「あんしえ、悩むぜー」とおばーが言うので「誰に投票しようか悩んでるんですか?」と聞くと「違うよ。こんなにお見合い写真があったらどの人しようか悩むぜー」。爆笑でした。
(女性/20代)

😊 感動がいっぱい!

デイケアに行くことを嫌がっていたおじー。お迎えに行き数回目、「仕方がないから、お前に会いに行くよ!」と言ってくれた時、嬉しかったなあ〜
(男性/30代)

😊 笑いが生まれた!

夜勤中に食堂で作業をしていたら、起きてきたおばーが「このお店はお客さんいないね。もったいない。女の子2人くらい雇ったらお客さん来るはずよ」とスナックを経営していた時のノウハウを教えてくれた…
(女性/30代)

😊 感動がいっぱい!

以前、意思の疎通が難しい利用者さんがいました。でも、私が退職する時には涙を流してくれて、「やってきたことは無駄じゃなかったんだ」という気持ちになりました。
(女性/20代)

😊 笑いが生まれた!

認知症が進行したおばーが娘の顔を見て「あんた私の娘に似ているね」と言ったので「私は娘だよ」と答えたら「ちがう、うちの娘はもっと美人だよ」と返されたそう。
(女性/30代)

😊 感動がいっぱい!

90代の利用者さんが、80代の利用者さんの肩をマッサージしながら、「疲れているわねえ〜」と気遣っていて、思いやりって歳を経ても減らないのだと感動しました。
(女性/20代)

😊 感動がいっぱい!

仕事が辛かった時、認知症の利用者さんが手招きして「元気ね? あんた、いい子だから頑張らなさい」と、頭を撫でてくれました。一瞬で笑顔にしてくれるおばーは偉大!
(女性/20代)

😊 笑いが生まれた!

送迎中、耳の遠い利用者さんが「ここはどこか?」「うるま市だよ」と答えたら「え?もやし?」と返答が。後日、また同じことを聞いてきたので「もやしだよ」と答えたら…「あー、うるま市ね」と。正解!
(男性/20代)

😊 感動がいっぱい!

新人だった頃、利用者さんに怒られている私を見たおばーが「こっちにおいで」と一言。「ものごとを教えてもらえるのは、愛されてるのと同じ。なにも言われない方が不幸よ」と言われ、その言葉の深さにジーンとききました。
(女性/30代)

😊 笑いが生まれた!

別部署にヘルプに行ったら、認知症の利用者さんに「どこの学生さん?あんたは上等だから学校卒業したらここで働かないか?」と本気でスカウトされた。
(女性/30代)

😊 笑いが生まれた!

私が独身だった頃、テレビを見ていた利用者さんが、突然私に「金持ちと結婚したらダメよ!あんたには幸せになってほしいからね〜」と。どうやら、お金持ちの家に嫁いで苦労している女性のドラマが流れていたみたい。
(女性/30代)

😊 笑いが生まれた!

祖母がケガもしていないのに絆創膏を貼っていたので「どうしたの?」と聞くと「膝が痛いけど湿布がないから貼ったよ」。痛みが取れたのかは謎です。
(男性/30代)





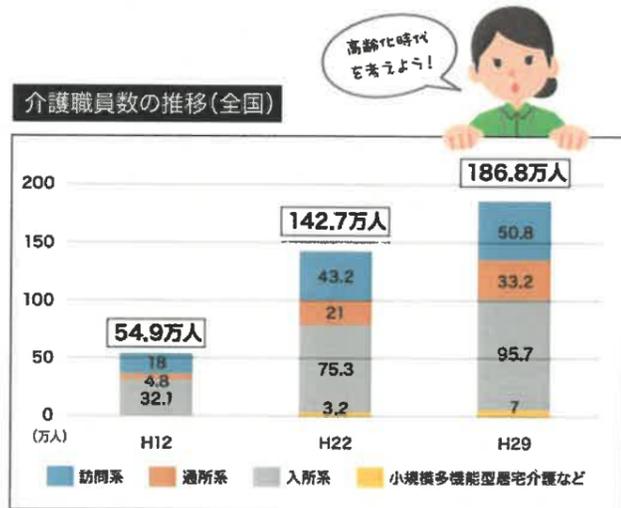
気になる疑問を解消 介護のお仕事って 実際どうなの？

Q & A

介護のお仕事って、体力的・精神的にも、きつくて大変そうと思われていたり、給与水準が低く、離職率が高そうなイメージを持たれています。そんな介護のお仕事についての「気になる疑問」を解消し、魅力的な介護職の道を行ってみよう！

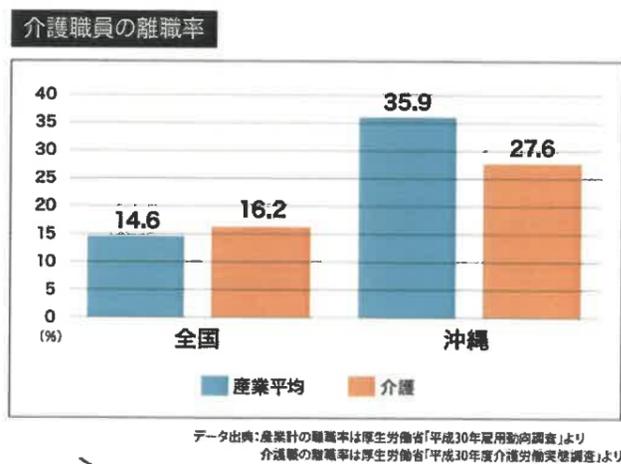
image photo

Q1 介護業界は人手不足と聞きます。仕事がつく、多くの介護職員がやめているから人手が不足しているのですか？



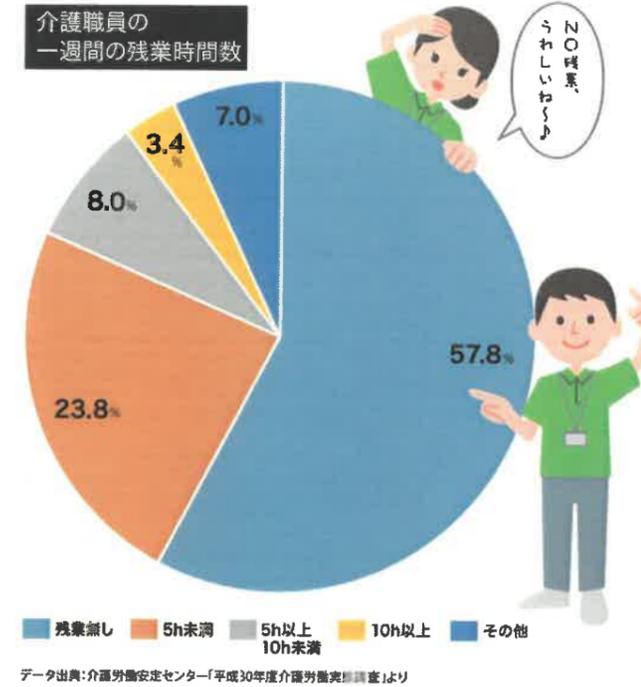
A 介護職員数は増えています。介護保険制度が始まった平成12年度は全国で54.9万人でしたが、平成29年度は186.8万人と約3.4倍となっています。介護を必要とする高齢者も増えているため、働く人が不足しているのです。介護職はこれからも必要とされるお仕事です。

Q2 やめる人が多いと聞きますが本当ですか？離職率はどれくらいですか？



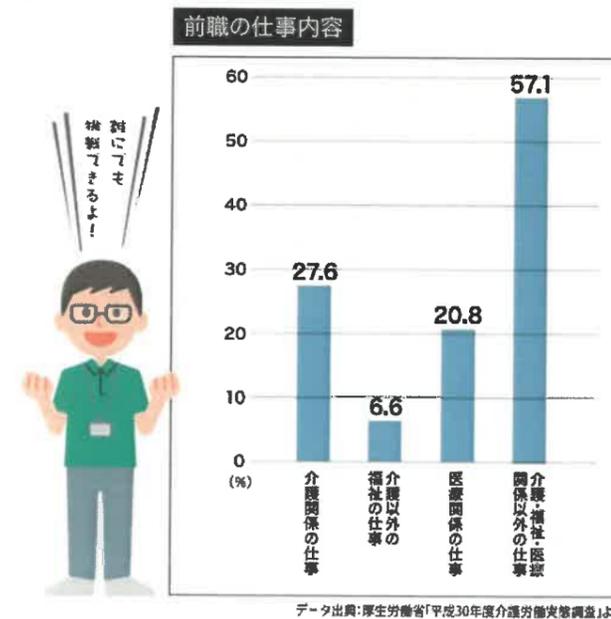
A 介護業界に限らず県内産業従事者の離職率は35.9%と非常に高い状況です。県内介護職の離職率は平均以下の27.6%となります。

Q3 残業時間は多いのですか？



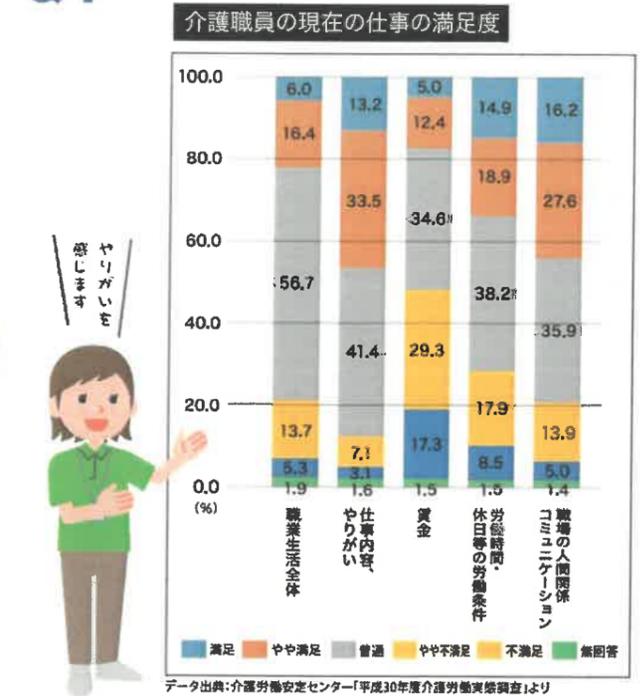
A シフト制がしっかりととられており、1週間の残業時間は、57.8%が「残業無し」と答えています。

Q5 未経験ですが、やっていきますか？



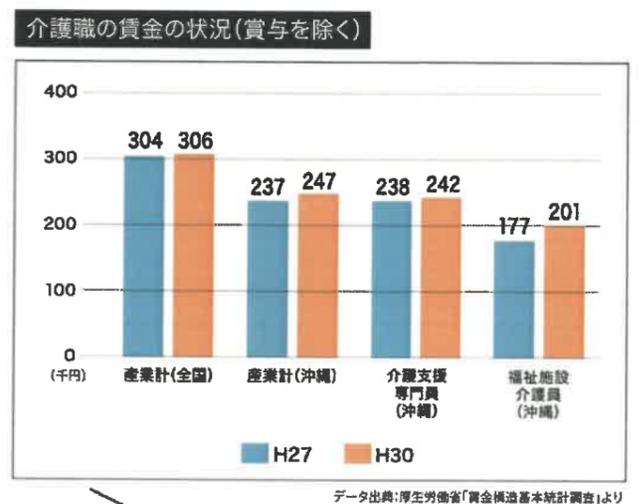
A 県内介護関係職員のうち、約80%が転職を経験しています。また、転職者のうち、57.1%の方が介護・福祉・医療関係以外のお仕事でした。事業所の支援もあり、働きながら資格を取得する人も多いです。

Q4 働いている人の不満は大きいのですか？



A 県内介護職員の職業生活全体の満足度(満足+やや満足)は22.4%で、不満足度(不満足+やや不満足)19.0%を上回っております。多くの人は「普通」と考えています。

Q6 お給料はいくらぐらいですか？



A 県内介護職の賃金(賞与を除く)は20万1千円で他の産業と比べると低い状況ですが、現在、国において処遇を改善するための措置が図られており、賃金は増加しています。

「介護職」には、どんな魅力やメリットがあるの？



1 介護職はどの年代からでもキャリアパスが可能

無資格・未経験からはじめることができ、誰でも資格取得によってステップアップが可能となるのが、介護職の大きな魅力です。他業種からの転職、子育てや介護などが落ち着いた方々、中高年齢者となっても働くことができる仕事です。

STEP-3

介護実践の専門職や
マネジメント職

認定
介護福祉士

実務経験があつてこそ、生きる資格

ケアマネージャー

STEP-2

知識・技術を得得した
介護福祉士

介護福祉士

社会福祉士

STEP-1

一定程度の知識・
技術を身につけた
介護職

2年で国家受験資格
介護福祉士
養成施設
※沖縄県の修学資金貸付あり

介護福祉士
実務者研修
(ホームヘルパー1級研修相当)

介護福祉士を目指すなら必須！
国家資格「介護福祉士」の受験資格を得るには、介護福祉士実務者研修の資格取得が必要です。3年以上の実務経験に加えて、実務者研修(450時間)の受講の修了が義務付けられ、標準受講期間が6ヶ月となっています。
※毎年1月の「介護福祉士国家試験」の受験には、前年12月末までに本研修を修了する必要があります。

働きながら「介護福祉士実務者研修」の資格取得が可能のため、初任者研修を取らなくても効率的にキャリアアップを目指すことができます！

まずは
実務経験
3年

介護職員
初任者研修
(ホームヘルパー2級研修相当)

※130時間の受講時間が必要な介護職の入門的資格です。
※働きながら取得を目指す方は、土日や夜間に受講するコースとなり、1週間に1日受講して約3カ月で取得目安となります。

介護職は
無資格・未経験でも
働けます！

はじめての介護職

- 他業種からの転職
- 子育てを終えた方
- 若者
- 障がい者
- 中高年齢者など

介護職では
幅広い年代の方が
活躍しています！

介護職は目標を持つことで、キャリアアップの実現が可能！

- ① 資格手当や職務・役職の昇格など、給料のベースアップや待遇の向上
- ② 得意分野を活かしたり、職場の選択肢が広がる
- ③ チーム内の介護職に対する指導・教育・フォローができるリーダー

6つの介護職キャリアと資格

公的
資格



① 介護職員初任者研修

(ホームヘルパー2級研修相当)

介護の基本的な知識や技術を、初心者が取得しやすい公的な資格です。利用者の体に直接触れる「身体介護」ができるようになり、ホームヘルパーとして訪問介護事業所で働きたい場合は必須の資格です。また、初任者研修修了者は実務者研修の受講時間がおおよそ130時間も短縮できるので、スピーディーに取得することが可能です。

公的
資格



② 介護福祉士実務者研修

(ホームヘルパー1級研修相当)

実践的な介護技術や専門的な知識を身につけることができる公的な資格です。介護福祉士国家試験の受験資格として、まずは実務経験3年と「実務者研修」の修了が必須となります。働きながら資格取得できる介護福祉士実務者研修は、効率的にキャリアアップを目指すことができます。

国家
資格



③ 介護福祉士

介護福祉士国家資格取得者は、介護のプロであるスキルの証明です。主に介護施設などで介護職員として、直接的に利用者への介助業務や生活援助を行うほか、資格を持っていることでサービス提供責任者や生活相談員になることができ、介護計画書の作成などの業務も行えます。自力で日常生活を営むことが困難な高齢者や障がい者をサポートができる介護のスペシャリストです。

民間
資格



④ 認定介護福祉士

新たな介護キャリアパスの中で最上位資格となり、介護福祉士のリーダー的存在として位置づけられています。介護福祉士よりも、更に多様な利用者や環境に対応できるための知識やスキルの習得、介護職員へサービスの質向上を指導するスキルと実践力を備えるため、介護現場だけでなく事業所内の幅広い役割を期待されています。

公的
資格



⑤ ケアマネージャー

主に介護サービスが必要な人を中心に業務を行います。利用者が適切な介護サービスを受けられるようケアプランを作成し、介護サービスの利用によって利用者が日常生活を快適に過ごせているかどうかを見極めるモニタリングを継続的に行ったり、利用者宅への訪問、関係機関との連絡調整業務なども行います。

国家
資格



⑥ 社会福祉士

病院などでソーシャルワーカーとして働くことができ、高齢者施設や障がい者の福祉施設などでは生活相談員や支援相談員として働くことができます。「高齢者」「児童」「家庭」「障害」など、幅広い分野の人を対象とし、地域の団体や公的機関と連携を図りながら、さまざまな理由により日常生活で困難をきたしている人に解決策を講じます。

2 介護福祉士は、給与アップ&就転職にも有利

高齢化などから需要が高まっている介護系職種ですが、供給が追いつかず慢性的な人手不足です。介護系の中では上位資格とされている介護福祉士は、一度取得すれば更新等する必要がなく、ずっと使える資格です。介護の経験と知識、そして介護福祉士の資格があれば、給与アップや就転職、結婚・出産・育児後でも有利に役立てることができます。

やる気UP!



3 介護の資格は種類豊富！得意分野で、幅広いスキルを身につけよう

介護士として得意分野を活かしたり、介護業界の他職種へ転身する際に強みになったりする資格がたくさんあります。

- 介護予防指導士
- 行動支援従業者養成研修(強度行動障がい支援者研修)
- 介護食士
- 福祉用具専門相談員
- 喀痰吸引等研修(かくたんきゅういんとうけんしゅう)
- 難病患者等ホームヘルパー
- レクリエーション介護士
- トラベルヘルパー
- 精神保健福祉士(国家資格)
- 社会福祉主事任用資格
- 音楽療法士
- 同行支援従業者養成研修(視覚障がい者ガイドヘルパー)
- 介護事務
- 福祉住環境コーディネーター

さまざまな『介護』の現場を大解剖！

介護職として活躍できる場は多種多様。特別養護老人ホームや介護老人保険施設などの入所施設をはじめ、デイサービスなどの通所型、利用者様のご自宅に訪問して介護を担う訪問介護など、それぞれの介護の特性を知り、自分に合った介護の現場を探ることが大切です。

入所施設での介護

特別養護老人ホーム/介護老人保健施設
有料老人ホーム/ケアハウス など

多様な経験を通じ、
介護者として大きく
成長できます。

必要な資格

無資格からも就業可能。就業前や後に介護職員初任者研修や実務者研修を修了し介護の基本を学んでいくとより定着が図られます。

主な業務内容

食事、入浴、排泄など、生活の基盤となる身体的な介助をはじめ、介護度に応じたコミュニケーション、各部署のスタッフと連携しながら入所者様の健康管理を行うなど、仕事内容は多岐に渡ります。

利用者の傾向

介護老人保健施設は要介護1以上、特別養護老人ホームの場合は要介護3以上と、同じ入所型でも施設の形態によって大きく異なります。

こんな方にオススメ!

介護者として知識と技術のスキル向上やさらなるキャリアアップを目標としている方。給与アップを目指す方にも挑戦しがいのある現場です。

訪問介護

雇用形態の
自由度が高く
働きやすい!

こんな方にオススメ!

利用者様のご自宅での介護のため、細やかな気配りが必要です。登録型の働き方もあり、自分に適した雇用形態や時間を选べるのが魅力。

必要な資格

訪問介護員として働くには介護職員初任者研修を修了している必要があります*。

主な業務内容

訪問介護員として、利用者様のご自宅にて生活に関わる支援を提供します。大きく分けて、食事、入浴、排泄などの「身体介護」と掃除、洗濯、買い物などを担う「生活援助」があります。

利用者の傾向

要支援1から要介護5までの方が利用するため、自立度はさまざま。それぞれの状態・生活に寄り添う臨機応変な姿勢が求められます。

*但し2017年4月の基準緩和により、一定の研修(自治体によって異なる)を受講すれば、介護予防・日常生活支援総合事業の業務に携わることが可能になり、介護職員初任者研修の修了を必要としない場合もあります。

主な業務内容

入浴、食事などの介助はもちろん、利用者様同士、介護者とのコミュニケーション促進のために各種レクレーションを提案。看護師と連携してリハビリテーションを行う場合もあります。

コミュニケーションを
とりながらスキルアップ!

通所での介護

デイサービス/デイケア

デイサービス

こんな方にオススメ!

介護度が低い利用者様が多いため、資格を取得したばかりの方や、子育て等で夜勤や土日の勤務が難しいという方も働きやすい環境です。

必要な資格

無資格からも就業可能。就業前や後に介護職員初任者研修や実務者研修を修了し介護の基本を学んでいくとより定着が図られます。

利用者の傾向

要支援1・2から要介護1・5までの方が利用できますが、ご自宅から通うことが可能な、比較的介護度の低い利用者様が多いのが特徴です。

主な業務内容

認知症の高齢者が共に暮らす5~9人の小規模施設。アットホームな雰囲気の中、介護者は日々の生活を見守りながら、家業のサポートやレクレーションを通して一人ひとりの自立支援へつなげます。

自立へ向けた
サポートが中心です!

認知症高齢者グループホーム

利用者の傾向

要支援2以上の認知症の方。身の回りのことがある程度できる場合が多いため、自立に向けたサポートに重点を置きます。

必要な資格

無資格からも就業可能。就業前や後に介護職員初任者研修や実務者研修を修了し介護の基本を学んでいくとより定着が図られます。

こんな方にオススメ!

認知症に関する知識や理解を深めたい方に適しています。小規模のため、入居者様一人ひとりとコミュニケーションが取りやすい職場です。

転職者が語る、介護職の『魅力』

介護の現場では、さまざまな理由で介護者として転身をはかった方もたくさん働いています。まったく異なる業種から転職された皆さんに「なぜ介護職を選んだのか」や「転職者だからこそ感じる介護の魅力」などについてお話を伺いました。



JOB CHANGE

運送業

ケアマネージャー

「ありがとう」と言われる度、
誰かの支えになれる
喜びを実感します。

ケアマネージャー ケアプラン実行
田中 宏樹

17年以上勤めた運送業を辞め、介護職に転職をしたのが40歳の頃です。現場で経験を積みながら、介護福祉士とケアマネージャーの資格を取得しました。介護の仕事

は人から「ありがとう」と感謝される仕事。それが大きな魅力です。「自分の存在が誰かを支えている」。その実感と喜びが私の原動力となっています。

JOB CHANGE

建設業

介護福祉士

“もの”ではなく、
“ひと”と向き合いたい。
それが転職のきっかけでした。

介護福祉士 ヘルパーステーションリールーラそえ介護福祉士会会長
与那覇 涼

以前は建設業で働いていましたが、仕事に追われ仕事を「作業」として捉えている自分がいました。そんな時、人と向き合える仕事がしたいという思いが芽生え、介護職へ

チャレンジすることを決めました。「人間」は、人間と書きますが、介護はまさに人間を学び、支援する仕事。それによって自分の人生も豊かになります。

JOB CHANGE

サービス業

介護福祉士

家族の将来を見据えて
介護の業界を目指しました。
現場でも毎日が勉強です。

介護福祉士 かりまた内科福祉通所介護センター
森 悟子

人と接するのが好きで、以前は雑貨屋で販売員をしていました。介護職を意識したのは、身内に介護が必要になったことがきっかけです。「何もできなかった」という後悔が残り、将来両親が介護を要した時は役立ちたいと強く思いました。現在は介護福祉士として利用者さん

の支援をしています。また、最近は「手話」の講座に通っており、もし手話が必要な利用者さんがいる場合は通訳なしでコミュニケーションが取れるようなスキルを身に付けたいと考えています。転職して、新しい気付きや学びが増えていくことに充実感を抱いています。

\\ CASE //

1

おじいおばあのかき子屋

小規模多機能施設あん

「小規模多機能ホームあん」では、利用者さんとスタッフが協力してかき子屋さんを運営しています。アットホームな雰囲気の中、子どもたちとコミュニケーションをとると同時に、利用者さんが計算や接客を行うなど、自立支援の場としても役立っています。また、公民館のお祭りや保育園のイベントでも出張販売を実施、地域とのつながりを深めています。かき子屋を開店して以来、おじいおばあちに笑顔が増え、楽しい「場づくり」が成功しています。



毎日営業しているので気軽に来てください！

その人の“ありのまま”を受け入れます。

\\ CASE //

2

注文を間違える ゆいまーるな喫茶店

サンクス・ママ

高齢者(認知症)の方々が社会に参加できる環境を整え、人と人が支え合う「ゆいまーるな温もり」を感じてほしい。そんな思いで沖縄県全域にてイベント開催中の「注文を間違えるゆいまーるな喫茶店」。認知症の皆さん自身がホールスタッフを勤め、その自立をサポートするとともに、地域の皆さんとの交流によって、認知症の理解へとつながる取り組みです。現在までに沖縄県内の10市町村にて全18回開催、さまざまな場所で輝く「笑顔」が生まれています。



この子がいると気持ちも明るくなるさあー



\\ CASE //

7

認知症への理解を深める憩いの場

グループホームきらめきトグチ

読谷村の「グループホームきらめきトグチ」で毎月第3木曜日(15:00~16:30)に開催されている「トグチふくしカフェ」は、認知症の方やご家族、地域の方々に開かれたコミュニケーションスペース。皆でコーヒーを飲みながら交流を深めることができます。沖縄民謡や懐メロを通して昔を振り返ったり、近隣のコーヒーショップによるハンドドリップの実演など、リラックスした雰囲気の中で、楽しみながら認知症への理解を深めることができます。

ゆんたくしながら介護の知識が深まる☆

日々進化し続けている介護の現場をチェックしよう！

“遊びゴコロ”を感じるアイデア & ユニークな取り組み

介護の仕事をもっと柔軟に考えてみると、まったく新しい世界が見えてくる。今、沖縄県でもさまざまな事業所で“遊びゴコロ”を感じるアイデアやユニークな取り組みが行われています。ここでは、介護の“タイヘン”を“タノシイ”に変える多彩な事例をご紹介します。



\\ CASE //

6

みんなの笑顔が輝くイベントを開催中！😊

多彩なアイデアで“生きがい”を創出

(株)いきがいクリエーション

(株)いきがいクリエーションが実施している「ストークラプロジェクト」では、地域を軸に、利用者さん、介護者が共に楽しむための多彩な企画がいろいろ！例えば、施設内で開催された「生きがい再生酒場」では、実際にお店の雰囲気をつくりながら本格的な焼き鳥やおでんを提供。唯一のルールは「自分で注文をする」こと。イベントの際は、日頃は歩行介助が必要な方も積極的に参加し、「楽しい♪」「美味しい！」と大盛りだっただそうです。



利用者さんにも介護者にとってもメリット大！

\\ CASE //

5

未来志向の「介護ロボット」活用

有料老人ホーム ゆうらく寿

(有)寿ランドが運営する「有料老人ホーム ゆうらく寿」では、「働きやすい職場づくり」に取り組むなかで、介護ロボットを積極的に導入。移乗時やおむつ交換における介護者の腰の負担軽減を目的に、装着型のマッスルスーツと移乗サポートロボットの2種類を介護現場で活用しています。余計な力が入らないことで利用者の皆さんの負担軽減にもつながっており、介護ロボット導入によって、肉体的・精神的・時間的ストレスの緩和が実現しています。



\\ CASE //

4

アミーゴCAFE

うらそえ介護福祉社会

「アミーゴCAFE」は、うらそえ介護福祉社会が毎月11日に開催している介護・福祉の現場で働く皆さんを中心としたコミュニティサロンです。異業種で働くゲストも多数参加し、さまざまなテーマでトークや情報交換を行っています。お茶やお酒を片手に、くだけた雰囲気で見聞が広がる「語り場」には、「介護の現場のやる気を伝えたい！」「地域をもっと盛り上げよう！」という個性豊かなメンバーが集まっています。

情報や想いを共有すればやる気生まれる！



ご存じですか、積極的に人材育成に取り組む事業所を!

沖縄県人材育成企業認証制度



沖縄県では、従業員が働きがいを感じ、スキルアップとキャリア形成を行うことができる人材育成に優れた取組を行っている企業を認証する「沖縄県人材育成企業認証制度」を平成25年度に創設しました。令和元年度前期現在の認証企業数は41社で、介護関係でも次の3社が認証されているところです。全国的にも、介護事業者の人材育成や人材確保に向けた取組の「見える化」を図り、介護職を志す方々の参入や、介護職員の離職防止、定着を促進するために認証評価制度が推し進められているところです。沖縄県でも、介護関係事業所の認証取得に向けた取り組みを支援していくこととしています。

認証審査基準

必須条件 労働環境等(働きやすさ)の整備状況

①若手人材の定着

原則として、29歳以下の若手社員の離職率が、県内の新卒離職率の業界平均と比較して低いこと。

②労働条件と労働環境

就業規則の整備と採用時の労働条件通知の実施 等

基本項目「働きがい」(5分野15項目の審査)

分野① ビジョンと人材像の実質化

分野② コミュニケーションを通じた人材育成

分野③ 仕事を通じた人材育成

分野④ 職場育成機能を補完する人材育成投資

分野⑤ 人・仕事・キャリアへの取組姿勢の形成支援

社会的貢献に関する加点評価

- ①育成前提の人材採用・登用: 他業種からの未経験者や、他社の正規雇用者などを育成前提で正規社員として採用実施 等
- ②社会の人材育成への貢献: 社会的なインターンシップ受入等キャリア教育への貢献 等

※制度の詳細は沖縄県商工労働部雇用政策課ホームページ等でご確認ください。

目指しているのは、地域・利用者・介護者が共に“いきがい”を創出できるコミュニティ。

(株)いきがいクリエーションでは、その名前の通り、“いきがいづくり”というビジョンをスタッフ一人ひとりが共有し、縦横の連携をはかりながら「人財」を育成。トップダウンによる業務の遂行ではなく、互いに意見を交わし、それぞれのスタッフの「働きがい」を引き出すことを重視。個別面談や研修、企画会議等を実施し、一人ひとりが活力と創造性を発揮できる「クリエイティブな介護」の実現を目指しています。

また、本社による「ズットクラスプロジェクト」では、さまざまな新規企画や地域交流イベントの企画・運営なども行っており、「介護」という職種の枠を広げながら、多職種・異業種とのコラボレーションにより地域活性化にもつながっています。



STAFF MESSAGE

現在は介護福祉士として働きながら、管理者としてスタッフの取りまとめも担っています。私のモットーは「一日一歩」。自分自身の経験からも、まず介護者が楽しまなければ利用者の皆さんを笑顔にする介護はできないと実感しています。利用者の方はもちろん、スタッフの“笑顔”も引き出したい。そんな気持ちで日々業務にあたっています。スタッフにはいつも「自分のおじいちゃんおばあちゃんを行かせたい施設を目指そう!」と話しています。

上地 千香 施設管理者・介護福祉士
(小規模多機能ホームいきがいのまち)



01 株式会社 いきがいクリエーション

主要業務 ● 介護保険事業 ● 障がい福祉事業
● 高齢者住宅 ● ズットクラスプロジェクト等

STAFF MESSAGE

実務に入る前に研修を受け、その後先輩と旅行へ行って親睦を深めることができました。研修時に夢や目標を計画するノートを作成したのですが、その後も自分で「すべきこと」や「やりたいこと」を書き出す習慣が付き、モチベーションを維持するのに役立っています。仕事をする上で大切にしていることは「コミュニケーション」。年齢を問わず話しやすい雰囲気があるため職場のみんなで意見を出し合い、「チーム」としてより良い介護を目指します!

大城 美晴 介護スタッフ



02 有限会社ウェルネス前田

主要業務 ● 老人通所介護サービス ● 障害児通所支援事業等
● 住宅型有料老人ホーム

細やかな教育制度や多様な働き方の提案で「介護者」自身の意欲や能力を引き出す。

浦添市で福祉事業を担う(有)ウェルネス前田は、教育制度が充実しているのが特徴です。介護の現場で実務に入る前の新卒社員を対象に3ヶ月の研修を実施。一般常識や、介護の知識・技術についての講義、利用者の方々への接し方等についての指導を行います。また、その際一人ひとりが「輝く未来計画書」を作成し、目標設定や将来へのプランを設計。可視化することで人材育成にも役立っています。

また、新卒社員とベテラン社員がチームで業務にあたる「ペア就労」により、世代間の壁をなくし、相互に長所を活かし合うことが可能。コミュニケーションスキルを磨き、仕事への理解を深めて介護の現場にフィードバックしています。



ビジョンを共有し、個々の能力を磨く。職員の意識と技術を高める多彩な取り組み。

(社福)愛の園福祉会 特別養護老人ホームいとまんシャトーでは、介護者の“働きがい”を生み出す多彩な取り組みを実践しています。スタッフが作成する「動画マニュアル」もその一つ。食事や移乗などの介助の手法を撮影し、みんなで共有。言葉では伝えにくい細かい内容も、可視化することでわかりやすい指導が可能になりました。また、申し送りの際は各人が施設の理念に基づいたテーマでスピーチを行っており、それによって新しい視点を発見したり、介護におけるアイデアを蓄えています。

さらに同施設では「サービス向上委員会」を設置。各部署の職員が毎月勉強会を行い、医療や救急などの知識も学びながら包括的な利用者支援につなげています。

STAFF MESSAGE

スタッフによる「動画マニュアル」の作成により、見る側はもちろん、撮影に参加する介護者も、自分の介助の見直しや新しい知識の習得などスキルアップを積極的に行うようになりました。また、申し送りの際に施設の理念に則した体験談のスピーチを実施することで、異なった視点の介護手法やコミュニケーションのとり方を共有できます。今後もチームワークを強化しながら、個々の能力や特性を活かした環境づくりをしていけたらと思います。

上原 冨香 介護主任・介護福祉士
(特別養護老人ホームいとまんシャトー)



03 社会福祉法人愛の園福祉会 特別養護老人ホームいとまんシャトー

主要業務 ● 社会福祉事業(高齢者介護)

ご存じですか、積極的に人材育成に取り組む事業所を!

沖縄県人材育成企業認証制度



沖縄県では、従業員が働きがいを感じ、スキルアップとキャリア形成を行うことができる人材育成に優れた取組を行っている企業を認証する「沖縄県人材育成企業認証制度」を平成25年度に創設しました。令和元年度前期現在の認証企業数は41社で、介護関係でも次の3社が認証されているところです。全国的にも、介護事業者の人材育成や人材確保に向けた取組の「見える化」を図り、介護職を志す方々の参入や、介護職員の離職防止、定着を促進するために認証評価制度が推進されているところです。沖縄県でも、介護関係事業所の認証取得に向けた取り組みを支援していくこととしています。

認証審査基準

必須条件 労働環境等(働きやすさ)の整備状況

①若手人材の定着

原則として、29歳以下の若手社員の離職率が、県内の新卒離職率の業界平均と比較して低いこと。

②労働条件と労働環境

就業規則の整備と採用時の労働条件通知の実施 等

基本項目「働きがい」(5分野15項目の審査)

分野① ビジョンと人材像の実質化

分野② コミュニケーションを通じた人材育成

分野③ 仕事を通じた人材育成

分野④ 職場育成機能を補完する人材育成投資

分野⑤ 人・仕事・キャリアへの取組姿勢の形成支援

社会的貢献に関する加点評価

- ①育成前提の人材採用・登用: 他業種からの未経験者や、他社の正規雇用者などを育成前提で正規社員として採用実施 等
- ②社会の人材育成への貢献: 社会的なインターンシップ受入等キャリア教育への貢献 等

※制度の詳細は沖縄県商工労働部雇用政策課ホームページ等でご確認ください。

目指しているのは、地域・利用者・介護者が共に“いきがい”を創出できるコミュニティ。

(株)いきがいクリエーションでは、その名前の通り、「いきがいづくり」というビジョンをスタッフ一人ひとりが共有し、縦横の連携をはかりながら「人財」を育成。トップダウンによる業務の遂行ではなく、互いに意見を交わし、それぞれのスタッフの「働きがい」を引き出すことを重視。個別面談や研修、企画会議等を実施し、一人ひとりが活力と創造性を発揮できる「クリエイティブな介護」の実現を目指しています。

また、同社による「ズットクラスプロジェクト」では、さまざまな新規企画や地域交流イベントの企画・運営なども行っており、「介護」という職種枠を越えながら、多職種・異業種とのコラボレーションにより地域活性化にもつながっています。



STAFF MESSAGE

現在は介護福祉士として働きながら、管理者としてスタッフの取りまとめも担っています。私のモットーは「一日一笑」。自分自身の経験からも、まず介護者が楽しまなければ利用者の皆さんを笑顔にする介護はできないと実感しています。利用者の方はもちろん、スタッフの「笑顔」も引き出したい。そんな気持ちで日々業務にあたっています。スタッフにはいつも「自分のおじいちゃんおばあちゃんを行かせたい施設を目指そう!」と話しています。

上地 千香 施設管理者・介護福祉士
(小規模多機能ホームいきがいのまち)



01 株式会社 いきがいクリエーション

主要業務 ● 介護保険事業 ● 障がい福祉事業
● 高齢者住宅 ● ズットクラスプロジェクト等

STAFF MESSAGE

実務に入る前に研修を受け、その後先輩と旅行へ行って親睦を深めることができました。研修時に夢や目標を計画するノートを作成したのですが、その後も自分で「すべきこと」や「やりたいこと」を書き出す習慣が付き、モチベーションを維持するのに役立っています。仕事をする上で大切にしていることは「コミュニケーション」。年齢を問わず話しやすい雰囲気があるため職場のみんなで意見を出し合い、「チーム」としてより良い介護を目指します!

大城 美晴 介護スタッフ



02 有限会社ウェルネス前田

主要業務 ● 老人通所介護サービス ● 障害児通所支援事業等
● 住宅型有料老人ホーム

細やかな教育制度や多様な働き方の提案で「介護者」自身の意欲や能力を引き出す。

浦添市で福祉事業を担う(有)ウェルネス前田は、教育制度が充実しているのが特徴です。介護の現場で実務に入る前の新卒社員を対象に3ヶ月の研修を実施。一般常識や、介護の知識・技術についての講義、利用者の方々への接し方等についての指導を行います。また、その際一人ひとりが「輝く未来計画書」を作成し、目標設定や将来へのプランを設計。可視化することで人材育成にも役立っています。

また、新卒社員とベテラン社員がチームで業務にあたる「ペア就労」により、世代間の壁をなくし、相互に長所を活かし合うことが可能。コミュニケーションスキルを磨き、仕事への理解を深めて介護の現場にフィードバックしています。



ビジョンを共有し、個々の能力を磨く。職員の意識と技術を高める多彩な取り組み。

(社福)愛の園福祉会 特別養護老人ホームいとまんシャトーでは、介護者の“働きがい”を生み出す多彩な取り組みを実践しています。スタッフが作成する「動画マニュアル」もその一つ。食事や移乗などの介助の手法を撮影し、みんなで共有。言葉では伝えにくい細かい内容も、可視化することでわかりやすい指導が可能になりました。また、申し送りの際は各人が施設の理念に基づいたテーマでスピーチを行っており、それによって新しい視点を発見したり、介護におけるアイデアを蓄えています。

さらに同施設では「サービス向上委員会」を設置。各部署の職員が毎月勉強会を行い、医療や救急などの知識も学びながら包括的な利用者支援につなげています。

STAFF MESSAGE

スタッフによる「動画マニュアル」の作成により、見る側はもちろん、撮影に参加する介護者も、自分の介助の見直しや新しい知識の習得などスキルアップを積極的に行うようになりました。また、申し送りの際に施設の理念に則した体験談のスピーチを実施することで、異なった視点の介護手法やコミュニケーションのとり方を共有できます。今後チームワークを強化しながら、個々の能力や特性を活かした環境づくりをしていけたらと思います。

上原 涼香 介護主任・介護福祉士
(特別養護老人ホームいとまんシャトー)



03 社会福祉法人愛の園福祉会 特別養護老人ホームいとまんシャトー

主要業務 ● 社会福祉事業(高齢者介護)

介護ロボットの導入支援

沖縄県では、介護現場等で「介護ロボット」の適切かつ効果的な導入と活用を促進することを目的に、2020年1月27日・沖縄産業支援センターで「介護ロボット沖縄フォーラム2019」を開催しました。会場では、介護ロボットに関する施策や活用事例のプレゼンテーションをはじめ、さまざまなカテゴリーの介護ロボットの体験展示・使用貸出の受付などが行われ、多くの介護業界の皆様へ先進の情報をお届けすることができました。「見守り」や「コミュニケーション」、「移乗介護」など、多様な用途で介護ロボットが活用されており、「利用者様のサポートを行う」と同時に、「介護者の負担軽減」を担うツールとして、今後の活用が期待されています。



日常生活における6つの重点分野で
介護ロボットの導入を推進しています。

- ① 移乗介護
- ② 移動支援
- ③ 排泄支援
- ④ 見守り・コミュニケーション
- ⑤ 入浴支援
- ⑥ 介護業務支援

沖縄県では、介護事業所等が介護ロボットを導入する経費の一部を補助しています。

沖縄県・国・関係機関の求職者への支援策

沖縄県をはじめ、国や関係機関において、介護職への求職者を対象にしたさまざまな取り組み・支援を行っています。主な内容は下記の通りになります。

介護に関する入門的研修事業

沖縄県では、本島や離島の各地域において、介護未経験者を対象に、介護に関する基本的な知識や介護の業務に携わる上で知っておくべき基本的な技術を学ぶことができる研修を無料で実施します。

介護助手採用促進モデル事業

沖縄県では、県内モデル事業所において、身体的介助を行わずに配膳やベッドメイク等の周辺業務に従事する「介護助手」の採用を促進し、就業希望者と事業所のマッチングを行います。

県内離島への就職支援

県では、県内または県外の介護専門職（介護福祉士、介護支援専門員、介護職員初任者研修修了者等（就職後の資格取得も含む））が離島の介護事業所に就職し、3ヶ月以上就業した場合に、渡航や引越等の就職に要した初期費用を補助します。

求職者への資格取得支援

県内各ハローワークでは、就職支援の一環として「介護職員初任者研修」や「介護福祉士実務者研修」の資格を取得するための公的職業訓練等のあっせんを行っています。また、県でも、県高齢者福祉介護課、県労働政策課（委託訓練）、母子家庭等就業・自立支援センターにおいて、資格取得の支援を行っています。

修学資金の貸付け

沖縄県福祉人材研修センター（沖縄県社会福祉協議会内）では、介護福祉士養成施設への入学希望者や、介護福祉士資格取得のための実務者研修受講者等への修学資金の貸付けを行っています（返還免除制度あり）。

介護事業所とのマッチング

- 各ハローワークでは職業紹介とともに、ミニ企業説明会等において介護事業所の紹介を行っています。
- 沖縄県福祉人材研修センターでは、福祉や介護の職業紹介とともに、職場説明や面接会等を行っています。



その他の詳しい情報はこちらから

Q 沖縄県 介護人材確保対策

検索

<https://www.pref.okinawa.lg.jp/site/kodomo/korei/zinnzaikakuho.html>